平成26年 新年のごあいさつ

輝く南島原市を目指して

南島原市長　藤原米幸

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。旧年中は市政に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

午年の今年は「天馬空を行く」をテーマに、市民の皆さまの暮らしが豊かになり、世界に羽ばたく南島原市を実現する年にしたいと考えております。

南島原市が合併し、早くも9年目を迎えようとしています。私も市長に就任させていただいてから、丸3年半が過ぎました。これまで私は「市民がど真ん中!市民が主役、市民総参加が市政運営の基本」だという思いで行政運営を担ってまいりました。その目指すところは「市になって良かった」と実感できるまちにすることです。

本市は長崎県で最年少の市として誕生しましたが、その広さは約170平方キロメートルで、大村市の1．4倍になります。人口も財政規模も、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市に次いで、県内5番目の都市として急浮上したわけです。これまでに島原半島のけん引役としての自覚と誇りをもとに、市民の皆さまと協働で、輝く南島原市の実現にむけ多くの重要施策を行ってまいりました。

市の全ての根幹となる道路網の整備は132路線に達し、農業の基盤整備では、この3年間で約83億円を投じ、農業生産額で県下一を誇る基幹産業の強靭化に努めました。しかし、耕作放棄地は増加を続けており、TPPを視野に入れた強い農業づくりのため、450ヘクタールにのぼる耕作放棄地の開発に取り組みたいと考えているところです。

市の発展には子どもたちの健康と教育環境への支援が不可欠です。これまで、乳幼児に限られていた福祉医療制度を、昨年から対象を義務教育の小中学生にまで拡大しました。また、休日保育、延長保育、放課後児童クラブの充実や子育て支援センターの機能強化など力を傾注してきました。そのほか、8カ所の給食会が合併し、念願の「南島原市学校給食会」が設立。小中学校では平成27年度までに、市内すべての体育館の耐震工事が完了する予定です。

本市の65歳以上の高齢化率は32%を超えており、今後も保健・医療・福祉の連携によるきめ細かなサービスの提供が必要であります。高齢者・障害者交通費助成利用券は、今年度から島鉄バスにも使えるよう見直しました。また、老人クラブなどの高齢者団体の活動やシルバー人材センターを活用した就業機会の拡大を支援しています。

人が元気になるには、若い人たちが活躍できる「働く場所の確保」が最も重要であります。そこで3億円の基金を設置し「南島原市人が、産業が、まちが元気になる雇用創出基金事業」を3年間にわたり実施しています。また、企業誘致では、昨年、東京のIT企業3社を深江町の山の寺分校に誘致しました。廃校舎を再活用し、市内の農水産物をインターネットで世界に発信するという壮大な事業は全国から注目されています。また、私の公約にも掲げていましたが、全国公募により、昨年から民間企業において豊富な実務経験を有する人物を物産担当として迎え入れました。本市の地場産品を活用した新商品の開発や、南島原ブランドの確立に向けて、積極的に取り組んでいるところです。物産展につきましては、九州最大の都市「福岡市」へターゲットを拡大し、南島原市の農水産物を食材とした「南島原フェア」を開催しました。同時に主要産品である「手延べそうめん」のPRを行い、年間を通じ消費拡大を図るため、市内外へ広くアピールしています。

口之津開港450年事業に端を発した本市のPRで大きく知名度をあげた結果、農林漁業体験民泊事業は、昨年は6千人を超す修学旅行生をお迎えし、今年はすでに1万人の予約が確定しています。海外からの予約も順調で、皆さまの民泊へのご協力が何よりも大切と考えています。

世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」については、昨年の国内推薦に惜しくも漏れてしまいましたが、引き続き推薦決定をいただくよう、鋭意取り組んでいるところであります。平成28年の世界遺産登録も手が届くところまで近づいてきていると感じています。今年は世界遺産登録に向けての勝負の年と位置づけ、市民の皆さまと協働で、シンポジウムや講演会、市民参加型のPRイベントなどを開催し、全市、全庁を挙げて、世界遺産登録に向けた取り組みを進めてまいります。

昨年は小豆島町と与論町の2つの町と姉妹都市の縁組が実現しました。本来の南島原市が持つ歴史的な広がりと重みを明らかにする契機になると信じます。また、昨年暮れには本市の4人の少年少女がイタリアを訪問し、天正遣欧少年使節団を実現したヴァリニャーノ師の故郷に民宿し、現地の子どもたちと親交を深めました。本市の交流の輪はさらに広がりを見せるでしょう。

今年4月には原城文化センターが「世界遺産ガイダンス施設」に衣替えし、世界遺産登録に備えます。8月には、布津中学校と西有家中学校の体育館が完成します。そして、新しい口之津港誕生に向けた動きも始まり、有馬商業跡地の検討も進み、加津佐前浜整備計画も始動する年になります。

ペガサスが天空を駆けるように、市民の皆さまにとって「天馬空を行く」の例えにちなみ、産業も文化交流も大きな広がりを持ち、自由で豊かな年になりますようお祈り申し上げます。

廃校舎にIT企業を誘致

九州一の大都市福岡で南島原の食材をPR

好調の農林漁業体験民泊

今年こそは世界遺産国内推薦獲得へ

世界遺産ガイダンス施設が平成26年4月に誕生

与論町と小豆島町との姉妹都市調印

『第22回かづさ夢・手づくりふれあい祭り』
まちの話題(6~7)

『選挙へ行こう！』
長崎県知事選挙(8)

『平成26年 南島原市消防出初式』
南島原にゅーす(12~15)

CONTENTS

平成26年 新年のごあいさつ	2~5
まちの話題	6~7
長崎県知事選挙	8
復興への絆	9
民生委員・児童委員一斉改選	10~11
南島原にゅーす	12~15
くらしの情報	16~20
島原半島世界ジオパーク	21
南島原市図書館だより	22
国際交流員コラム	23
消費生活センター	23
保健事業のご案内	24~25
市民カレンダー	26